



平成25年3月5日

清掃車火災を防止しよう

～エアゾール缶・カセットボンベは適正に廃棄しましょう～

転居や転入が多くなる春先に、清掃車火災の発生が多くなります。東京消防庁管内¹⁾では平成24年²⁾までの10年間に1,472件の清掃車火災が発生し、その多くがエアゾール缶やカセットボンベに起因するものでした。

お住まいの地域の、ごみの分別方法や廃棄方法をしっかりと確認し、特に火災の原因となるようなエアゾール缶やカセットボンベなどは適正に廃棄しましょう。

詳細は、別添え資料をご覧ください。

清掃車火災を防止するために

- エアゾール缶やカセットボンベなどの廃棄については、お住まい区市町村の廃棄方法や分別区分を必ず確認しましょう。
- エアゾール缶やカセットボンベは、中身を使い切り、各区市町村の指定する廃棄方法や分別区分を守って廃棄しましょう。
- やむを得ず中身を使い切れなときは、火気のない風通しの良い屋外で、残存ガスがなくなるまで噴出し廃棄しましょう。

- 1) 東京都のうち東久留米市、稲城市、島しょ地区を除く地域
(東久留米市は平成22年4月1日より東京消防庁管内)
- 2) 平成24年中は速報値です。

問合せ先

東京消防庁 (代) 電話 3212 - 2111
防災安全課防災安全係 内線 4206
調査課資料係 内線 5066
広報課報道係 内線 2345～2349

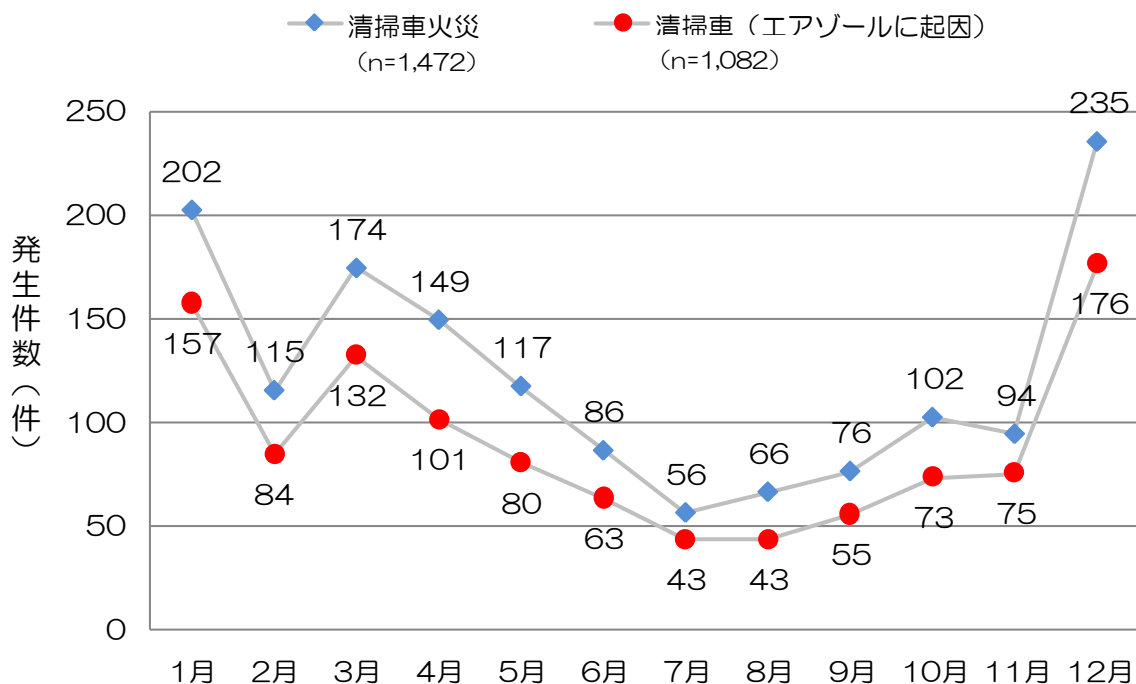


清掃車火災を防止しよう！！

平成15年から平成24年までの10年間に東京消防庁管内では、清掃車火災が1,472件発生しています。その内エアゾール缶やカセットボンベに起因する火災は約7割（1,082件）と多くを占めています。

発生時期では、鍋などでカセットボンベを使用する機会が多くなる12月と1月、転居や転入が多くなる3月に多くなっています（図）。

原因としては、エアゾール缶等の廃棄方法や分別区分などの認識が不十分で、他の分別区分のごみに混入することにより発生していると推測されます。



図：月別の清掃車火災の発生状況（過去10年間）